

(9) 肉用牛生産の拡大

農畜産課畜産室

1. 目指す姿と取組のポイント

【和牛子牛生産頭数 9,300頭以上、産出額 25億円以上増加】

- 子牛市場価格の変動にも耐えられる特色ある子牛の生産を進め、安定した経営を目指す将来の担い手を継続的に確保
 - ① リース牛舎や放牧を活用した新規就農者の確保
 - ② 市場価格をリードする種雄牛の造成
 - ③ 繁殖雌牛の能力向上
 - ④ 子牛や肥育牛の生産性向上

【KPI目標】和牛子牛生産頭数
R1:7,522頭 → R2目標:7,700頭
実績:7,900頭(見込)

2. 取組の進め方と令和3年度予算事業

(1) 新たな担い手確保

【目標】毎年5名以上の新たな担い手を確保

R2	取組	○ 就農希望者や施設候補地等の情報の収集 ○ 就農パッケージ(9件)の作成 など
	成果	○ 新規就農者5名、来年度以降の就農希望者14名を確保



R3	取組方向	○ 就農希望者と継承希望施設、畜産施設候補地等の情報を一元管理し、地元生産者(改良組合や集落営農等)が就農を仲介する仕組みを構築 ○ 30頭規模以上を目指す専業新規就農者を育成
	支援事業	○ <u>中核的な経営体を目指す自営就農確保対策事業</u> 334,938千円の内数 ・新規就農者の初期投資の軽減を図るためリース牛舎の整備を推進し、取得経費の一部を助成 国庫事業(※)活用型...補助率1/4 ○ <u>畜産クラスター事業<国>(※)</u> 2,000,000千円 ・高収益型の畜産を実現する牛舎等の施設整備を支援...補助率1/2

(2) 種雄牛の造成・繁殖牛の能力の向上

(3) 子牛や肥育牛の生産性の向上

【目標】子牛市場価格と肥育出荷成績で全国平均以上を達成

R2	取組	○ しまね和牛のめざす姿について県内の生産をリードする生産者等と検討 ○ 繁殖雌牛の更新・増頭(280頭)、ゲノム能力評価(800頭)を支援 ○ 成績優良農家と要改善農家(22件)の飼養管理や経営を調査
----	----	---

R2	成果	○ 全国平均に対する比率の改善 子牛市場価格 R1:98% ⇒ R2:99%、枝肉上物率 R1:95% ⇒ R2:101% (11月)
----	----	--



R3	取組方向	○ 県の改良方針を決定し、目標達成に必要な高能力繁殖雌牛の保留を推進 ○ 意欲ある生産者と連携して種雄牛の造成や和牛全共出品対策を実施 ○ 成績優良農家と連携して、成績不振農家を集中的に指導
	支援事業	○ <u>しまね和牛生産振興事業</u> 56,188千円 ・ 繁殖雌牛の更新・増頭を支援(300頭) ・ ・ 更新10万円、増頭15万円/頭 ・ ニーズに応える子牛づくりや特徴を活かした牛肉生産と販売を強化 ○ <u>増頭奨励金<国></u> ・ 畜産クラスター計画に基づき繁殖雌牛を増頭する場合に奨励金を交付 ・ ・ ・ 50頭未満農家 24.6万円/頭、50頭以上農家 17.5万円/頭 ○ <u>肉用牛経営安定対策補完事業<国></u> ・ 生産基盤強化のため、優良な繁殖雌牛の増頭や簡易牛舎等の整備を支援 ・ ・ ・ 導入8万円または10万円/頭、簡易牛舎上限25千円/m2 ○ <u>種雄牛造成強化事業</u> 46,485千円 ・ ゲノミック評価による超高能力雌牛の選抜 (800頭) ・ 超優秀雌牛の導入支援 ・ ・ 補助率1/2、上限180万円/頭 ○ <u>第12回全国和牛能力共進会出品対策</u> 11,360千円 【拡充】 ・ 種牛の部出品候補雌牛の確保 ・ ・ 20頭、30万円/頭 ・ 出品候補牛の飼養管理指導を強化

(4) 放牧の拡大

【目標】放牧を利用している繁殖牛を3,800頭以上に増加

R2	取組	○ 公共放牧場の整備 (38.5ha) ○ 放牧場利用拡大計画の策定 (160頭)
	成果	○ 放牧利用頭数が増加 R1:3,300頭 ⇒ R2:3,400頭 (見込)



R3	取組方向	○ 隠岐に加えて大田や雲南地域での取組を推進 ○ 放牧場利用の参入障壁を取り除き新規就農者でも活用できる体制を構築
	支援事業	○ <u>放牧再生支援事業</u> 10,280千円 ・ 公共放牧場の再整備と適正管理する仕組みづくりを推進 ・ 雑灌木の除去、牧草の再播種、牧柵の修繕等 ・ ・ ・ 補助率1/2、上限330万円 ○ <u>畜産公共事業</u> 181,681千円<国、県、町村> ・ 草地造成や隔障物 ・ 家畜保護施設等を行い公共放牧場を整備